

広報誌

ほのぼののだより

～ほのぼのとした暮らし、ほっとできるひとときを～

秩父市社会福祉事業団

第8号

令和2年6月発行



～もくじ～

- にじいろテラスオープン P 2, 3
- 連載『風に吹かれて』 P 4, 5
- ほのぼのマイタウンあるある P 6, 7
- 身近なところで過ごす喜び P 8
- 連載『今ありて』 P 9
- 私のお気に入り P 10
- 趣味『悠・遊』 P 11
- 専門職のコーナー P 11
- Information P 12

表紙の写真

小さな花が寄り添って咲き、雨の日により美しく映える紫陽花。雨に咲く花。雨の日は、雨を楽しむ。日本古来の額紫陽花の花言葉は、「謙虚」。

にじいろテラス オープン

令和2年8月1日、『にじいろテラス』開設の運びとなりました。開設にあたり、皆様には多大なるご高配を賜り厚く御礼申し上げます。



にじいろテラスで行う事業

- 星の子教室
- 放課後等デイサービス ゆくる
- ふぁいん・ユー
- 寺尾デイサービスセンター
- 障がい者相談支援センター にじいろ

《所在地》 秩父市寺尾720

『にじいろテラス』ができるまで

- ・平成30年12月13日 事業用地取得
- ・設計業者：株式会社 丸岡設計
- ・施工業者：守屋八潮建設 株式会社
- ・下寺尾町会地域住民説明会（3度実施）

<工事の様子>

令和元年

- 9月15日 建設着工 いよいよです。
- 10月ごろ まずは、施設の周りから工事開始。
凄い深い穴、立派な基礎が出来ました。

令和2年

- 1月22日 建て方、鉄骨を組んだら建物出現。
- 2月～3月 屋根が出来て、外壁ができて、サッシもついた。職人さん凄い！
- 4月～5月 間仕切りが付いたら部屋が出来ました。
床も壁も天井も完成。
- 6月 ピカピカのこだわり建具、収納がいっぱいです。園庭もできたよ。早く遊ぼうね。
植木も植わって、もう一息。
- 6月30日 やった～！完成だあ～！

「スタートライン」

「個々の持つ力をサポートし、それぞれの個性が輝き続ける場所となる」それぞれの担当者がそんな思いを抱きながら、今まで準備にあたってきました。準備してきたものが花開こうとするその時、そこが私たちのスタートラインです。人は障がいの有無にかかわらず、誰もが地域で生活しています。にじいろテラスの存在が新たな興味や関心につながり、「もっと知りたい」と思ってもらえるような活動を実践します。そして、「にじいろテラス」を皆様の心に届けたい。個性のあるさまざまな色で、周りを照らすそんな場所であり続けられたらと思います。

2

『にじいろテラス』に込めた思い

「にじいろ」

七色の虹は、誰もがひとりひとり持っている、それぞれの個性が虹色のように輝くことを願って。

「にじ」は必ず二重に懸かると言う。もう一つの「にじ」は、条件がそろわないと見えない。目に見えるものと、見えないものを大切にしていきたい。

世代や立場、障害の有無等を超えて、人と人として繋がっていきたい。子どもたちはお年寄りから「知恵」を、お年寄りは子どもたちから「元気」を受け取ることで、共に生きる喜びを共有したい。

大空に懸かる虹のように、人と人、人と地域など様々なものを繋ぐ架け橋になりたい。

「テラス」

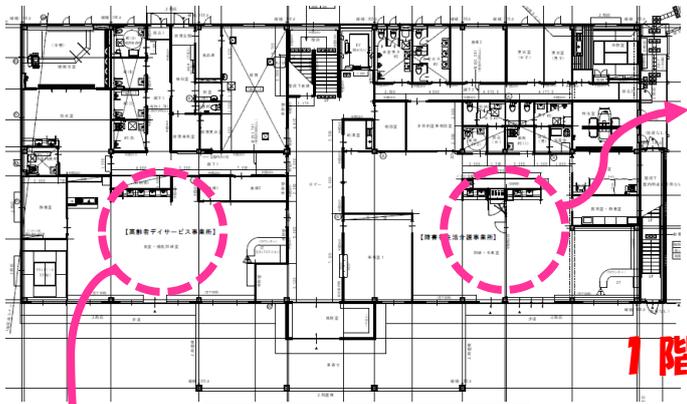
暖かい家のように、周りを明るく「照らす」存在でありたい。いつでも、誰でも気軽に訪れ、ふんわりと暖かい気持ちで過ごすことができるように。

ここに集い、いつでもつながっている喜びと、にじいろテラスが、ここにある安心感を地域の皆様に届けたい。

そして、地元である「寺尾」にも、ちなんで。



庭には、楽しい遊具があります。
遊び方、いろいろ。お楽しみに！



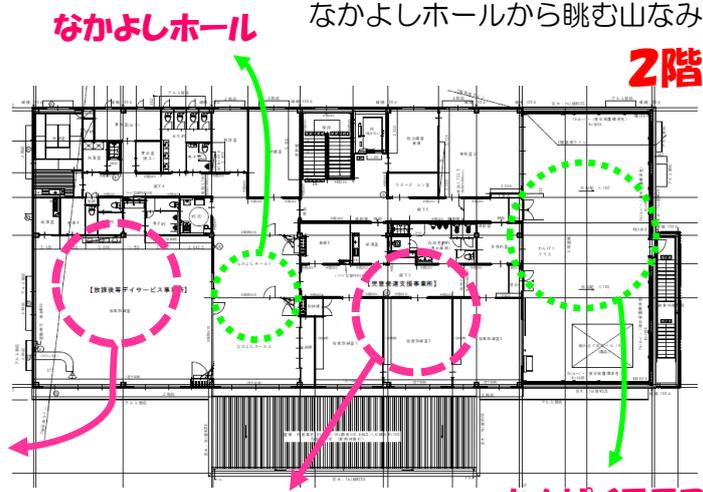
ふあいん・ユー

色彩にあふれ、自然と繋がる空間。頬をなでる風と、包み込むやわらかい光が出迎えてくれます。



建て方が終わって・・・
なかよしホールから眺む山なみ

1階



2階

寺尾デイサービス

心と体が温まると笑顔になります。美味しいものを食べると笑顔がこぼれます。笑顔の集まる場所です。



ゆくる



星の子教室

2階フロアーには、子供たちの元気な声が響き渡ります。広々とした、「なかよしホール」と「わんぱくテラス」は、子供たちの夢を叶える場所です。そして、子供たちの成長をしっかりと育みます。

わんぱくテラス



「あーでもない、こうでもない・・・」みんなで知恵を出し合って設計しました。アイデアがいっぱい、思いがいっぱい詰まっています。見どころ満載です。詳しくは、次号にてご紹介したいと思います。

担当者の想い

○星の子教室（江田美奈）

その子らしさをしっかりと見つけ、子どもたちが健やかに成長できるよう支援します。また、保護者の方も安心して通っていただけるよう、心掛けていきたいと思っています。

○ふあいん・ユー（小林和也）

「ふあいん・ユー」という名称には、誰もが毎日“笑顔”で過ごせるようにという思いが込められています。地域に貢献し、喜んでいただける存在、選んでいただける存在となるよう努めてまいります。

○寺尾デイサービス（江田佳生）

なんだか気になる、なんか居心地が良い、なんか会いたくなる・・・。みなさんの心の拠り所になり、日常の生活の彩りとなるよう取り組んでまいります。感謝の気持ちを大切にしています。

○放課後等デイサービス ゆくる（原智仁）

ゆくるでは、「個性・興味・考える」を大切に、様々な体験活動を行ってきました。新しい施設に移り、新しい仲間も増えます。これからも、ゆくるらしく一人一人の長所を丁寧に伸ばしていきたいと考えています。

○相談支援センター にじいろ（関根秀人）

十人十色な個性を大切にし、嬉しいこと、楽しいことを皆さんと一緒に作っていきたくです。にじいろテラスが皆さんの力強い応援団になれるよう、取り組んでいきたいと思っています。

『にじいろテラス』は、私たちの夢の結晶です。皆様のお力添えをいただき、大切に育ててまいりたいと思います。何卒、ご愛顧のほどよろしくお願いいたします。

連載 『風に吹かれて』 ～心のかたちを知りたくて～

・・・もし心に形があるならば、もし心に色があるならば、たしかな思いを丁寧に紡いで綴ります。

『医者と大道芸人の二足の草鞋を履いて』

偕楽苑 嘱託医 勅使河原正敏

公務員としては県職を含め39年間、医師としては38年10ヵ月間、秩父市立病院の勤務は足掛け33年8ヵ月間、特別養護老人ホーム偕楽苑の嘱託医としては足掛け22年8ヵ月間、病院長としては12年間の時を過ごし、本年3月秩父市立病院を退職しました。たくさんの方々にお世話になり、これまでやってることができました。皆さまに感謝です。4月から立場は変わりますが、引き続き秩父市立病院で医師として外来診療を中心にやっていきます。また、暫くは、ほのぼののマイタウン偕楽苑の嘱託医としてもお世話になりますので、今後ともよろしくお願い致します。



秩父市立病院長就任時

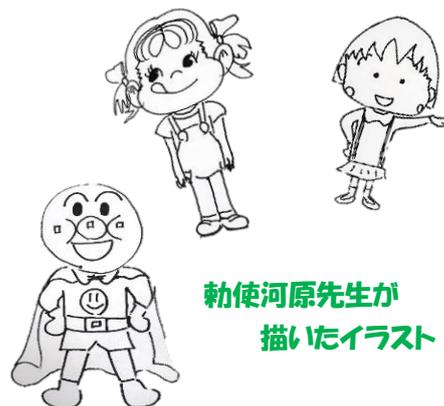
私は、小鹿野町で生まれ育ち、小・中学校を地元で過ごし、県立熊谷高校を経て、自治医科大学を昭和56年に卒業し、これまで地域医療に従事してきました。秩父には先輩、同級生、後輩や知人も多く、今でも大変助かっております。

振り返りますと、職業が医師ということもあり、また性格も影響してか、医師になってからは、毎日のように走ってきたような気がします。これからは、すこし速度を落とし、ゆっくりできればいいなと思っています。

令和元年5月から、時間をとって院外に飛び出し、地域住民の皆様を対象に「健康・長寿の秘訣」「人生のゴールをどう迎えるか 勅使河原語録を中心に」と題して講演を開始しました。ぜひ、少人数でも場所と時間をいただければお邪魔しますので、お声をかけてください。お待ちしております。

プライベートではこれまで、陶芸、水墨画、篆刻、そば打ち、うどん作り、そして大道芸など様々なものに取り組んできました。私が大道芸を始めたきっかけは、母が作ったお手玉をみつけてできるようになったのがきっかけです。その後、ジャグリングや皿回し、傘回しまでできるようになりました。最近では、日本古来の奇術である「胡蝶の舞」に挑戦しています。少しずつ大道芸のレパートリーが広がっています。ぜひ皆様にご披露できれば幸いです。そして、『蝶の作り方』を伝授させていただきたいと思っております。

子どもたちやお年寄りのために、アンパンマンなどのキャラクターを描けるように練習してきました。それを病院に来たお年寄りに塗り絵としてプレゼントしたり、薬局から出るボール紙を使ってパズルやすごろくを作って小児科の子どもたちにもプレゼントしました。「どんないいことを考えても行動しなかったら意味がない。やってみてみんな改善すれば良い」をモットーに取り組んでいます。



勅使河原先生が描いたイラスト

昨年、母校自治医科大学の学長である永井良三先生に、お忙しい中秩父にお越しいただきました。講演後、自治医科大学卒業生による囲む会の席で、「医者は、学者であれ、教育者であれ、芸者であれ、役者であれ、易者であれ」というお話を伺いました。先生の教えをもって、医者と大道芸人の二足の草鞋を履いて、今までお世話になった皆さんに感謝の気持ちをもって社会に貢献できればと考えています。「人生に無駄なし、仕事に雑用なし。どうせやるなら喜んで。なにがあっても楽笑楽笑。」という気持ちで。

一生懸命生きているそれぞれの人生に「乾杯！」皆さんに「感謝！」これからも「楽笑楽笑」の気持ちで生きて行こうと思います。

【Heart. 16】

勅使河原先生ってどんな人？

看護スタッフに聞きました。

- 優しい、面倒見がいい、気さく、せっかち etc.
- 利用者さんやご家族の細かい情報まで把握していて、アンテナを張り、常に目をかけている。
- 芸人としての芸が多彩で、楽しませてくれる。
- 看護スタッフは、日々『感謝』している。
- 奥さんや孫さんに囲まれて、プライベートでの幸せが伝わってくる。

これからも、公私共に楽しい時間を一緒に過ごしたい
と思います。定年お祝い申し上げます。

看護師一同♡



勅使河原先生が
描いたイラスト



『蝶々の作り方』

～お花紙を使って蝶を作ってみましょう～

◎準備するもの…お花紙、セロハンテープ

- ・平面から立体的にする時に、親指をおいて親指を大きく巻くようにすること
- ・触覚と体部は、ねじったあと基部でセロハンテープを使って固定しておくこと。では、挑戦してみよう！

『蝶は舞うのか？』

「胡蝶の舞」は、和妻ともいわれる日本古来の奇術である。左右の手に持った扇子で上げば、ひらひらと優雅に二匹の蝶が舞戯れるのである。それは、蝶が喜んでいるようでもあり、意思をもって舞い遊んでいるようでもある。演じるのは至難の技であり、手法は秘中の秘、一子相伝であったともいわれている。果たして勅使河原流の蝶々は、舞い遊ぶであろうか？



★ほのぼのマイタウン、あるある★

ほのぼのマイタウンには、偕楽苑と長寿荘を合わせ、約170人が生活しています、そして蒔田デイサービスには毎日30人程が通所しており、職員も含めてたくさんの人が過ごしています。暮らしの場であるほのぼのマイタウン、人の数だけそれぞれの暮らし様があります。そして、その人らしさが重なりあって、ほのぼのマイタウンの文化となっています。

Episode1 いつも、爽やか。いつも、ピカピカの床…、その訳は？



長寿荘は、ほのぼのマイタウンの3階、屋上庭園もあり風通し抜群！いつも爽やかな空気に包まれている。そして、食堂の床や廊下は、いつもピカピカ！

毎日、毎日、シミからシミまで、ほうきを持って、せっせ、せっせと…。みんなのために。ほんとに、頭が下がります。ミヨさんのおかげです。

好物は、『いなり寿司』だそうです。甘いいなり寿司、また、食べましょうね。



Episode2 「0」の付く日は？

そうです！10日、20日、30日は **カレーの日**

老若男女、とにかく人気のカレー！ インド人は毎食カレー！でも、刺激が強いので…

『0（ゼロ）の付く日は、カレーの日』、誰もが知っているお決まりです。そして、この日は皆さん心なしか、足取りもなんだか軽やか。『今日は、カレーの日だね！！』、『何カレーだろう？』これが『0（ゼロ）の付く日』の挨拶となっています。

ターメリック、クミン、コリアンダー、レッド chili、生姜、ニンニク、トマトに玉葱…、カレーは薬膳でもあり健康食品です。そして、その配合で、味も効能も様々です。まさに医食同源の手本です。

ほのぼのマイタウンのカレーもポーク、ビーフ、チキン、ひき肉、魚介、夏野菜、トマト、里芋、菜の花などなど、旬の食材を使って多種多彩です。

<某栄養士>

肉が苦手なので、トマトカレーが好き♡

<某食いしん坊>

『とんかつ』乗せてください。肉だくて！

<某グルメ>

あま〜い、かぼちゃカレーが絶品！

👄が子供なので…。

ほのぼのマイタウン

人気カレーランキング

第1位 豚肉カレー

みんな大好き定番豚肉カレー！堂々第一位♪

第2位 チキンカレー

ジューシーチキン、間違いのない味！

第3位 シーフードカレー

魚介の旨味と味の深さが人気！

★栄養士のおすすめ★

自信作 キーマカレー

ひき肉と玉ねぎの魅惑のコラボ！

Episode3 いつのまにやら、ほのぼの暮らし

「しろ」が、はじめてやってきたのは数年前。施設の中を逃げ回ってばかりいたけど、いつのまにか、ほのぼのマイタウンが家になりました。

今、ほのぼのマイタウンで暮らしているのは、後輩の「ちょん」と「くろ」、最初は喧嘩ばかりしていたけど今は大の仲良しです。「ちょん」は、「しろ」とのお別れの時、ずっとそばに佇んでいました。そして、しろの棲家には中々入ろうとしませんでした。

毎日、夕方になると、長寿荘の喜佐子さんから貰うご飯を待って、2匹揃って玄関前にスタンバイします。雨の日も風の日も・・・

しろちゃん、ほのぼのマイタウンのみんなが元気に過ごせるように見守っていてね。



Episode4 それは、まるで、職人技

偕楽苑では、エプロンやおしぼり、タオルなどの洗濯物をいつも丁寧に畳んでくれる方がたくさんいます。

君子さん、恵久子さん、久子さん、美沙子さん、敬子さん、清三さん、シナヨさん、貴美枝さん、イチ子さん、ヌイさん、三輪子さん・・・

その手さばきは、匠のそれです。何ということでしょう、しわくちゃだった洗濯物が、驚くほど綺麗に畳まれていきます。最後には、枚数まで数えてくれる恵久子さん。誰かのために働くって気持ちいいですね。



Episode5

視聴率ナンバーワン

長寿荘で人気テレビ番組は、時代劇と相撲、野球などのスポーツ番組です。コロナのため、大相撲は中止だし、野球の開幕は遅れるし。仕方ないけど、寂しい毎日です。

時代劇と言えば「水戸黄門」です。今は、金八先生が黄門様ですね。時の流れを感じるなあ～。でも近頃、時代劇減りましたよね～。寂しいなあ～。以前、長寿荘ではある番組の日、就寝時間が変わるほどの人気番組がありました。

それは、

渡る世間は鬼ばかり です。

施設内視聴率80%超えでした。みんなが待ってる番組、やってほしいなあ～。そして、誰かと一緒に楽しめる番組が沢山あるといいですね。

Episode6

一番人気は、まさかの

ほのぼのマイタウンに3台ある自動販売機で、一番人気は何だと思いますか？

そうです皆さんの予想通り、

あったか～い お汁粉



人気の秘密は、その甘さ、なんだか懐かしいと話す方もいます。そして、身も心も温まります。6月の今日現在、絶賛販売継続中です。

あるある探検隊

あるあるは、どこにでもあるのである。

- 天気が良ければ、札所一番。
- ご飯をくれる人はいい人。
- 割烹着を着てるときは、いきいき。 by 高篠デイ

身近なところで過ごす喜び

遠くに行かなくても、特別な事をしなくても、笑顔になれる場所がある。笑顔を待っている人がいる。



上吉田、春到来

ほのぼのマイタウンの遊歩道は、憩いの場。散歩をしたり、お花見をしたり、じゃがいも植えをしたり。



長寿荘コーラス隊と高篠テイ人情芝居「水戸黄門」一生懸命稽古しました。喜んでもらえて良かった。



餡子のすいとんにきんぴら、大滝で暮らしていた頃よく作ったっけ。懐かしい手料理に舌鼓を打ちました。



男の手料理。腕あがってます。

連載 今ありて ～この一瞬の煌めきを永遠に～



「ただいま～！」とみんなの元気な声で“ゆるる時間”が始まる。毎日の日課であるトイレ、手洗い、うがい、支度を済ませて…。「さあ今日は何をして遊ぼうかな？」

ゆるるには小学生から高校生まで、さまざまな年代の児童がいる。学年は違ってもみんな「楽しいこと」「嬉しいこと」「悲しいこと」「感動すること」、何でも一緒に分かち合っている。これまで、ゆるるで2年の時を過ごしてきた。言葉のコミュニケーションが難しい時でもお互いにわかりあえる。私もゆるるの一員として、みんなと一緒に時間を過ごせることを幸せに感じている。そして深い絆でつながっているゆるるは私の誇りだ。

放課後等デイサービス
ゆるる
浅海 力也



絵本、童謡が大好きで、歌が流れるとリズム乗り乗りのRちゃん。

「ね～ね～」とだれにでも明るく笑顔で関わるMちゃん。

何でもまずはやってみよう、チャレンジ精神がすばらしいRくん。

挨拶や返事も元気よく、みんなに笑顔を振りまくKくん。

工作はぼくに任せてよ！手先の器用なSくん。

ゆるるの先輩としてみんなをリード、バスケットボール、サッカーが大好きKくん。

だれにでも明るく、自転車やブロックが大好きなIくん。

クッキングも工作もスポーツも万能！みんなのあこがれ、オールマイティーなHくん。

はじめてのことでなんでも経験だ！何事にもおそれないKくん。

アイドル大好き！だれとも楽しくこうしゃくができるAちゃん。

お手伝いはぼくに任せて！と細かいことにもよく気が付くHくん。

散歩、砂場、ブランコが大好き！Sくん。

ゆるるがあるからみんなが出会えた。みんながいるからゆるるがある。ゆるるがあるから今がある。ときには支え合い、ときには笑い合い、ときには冒険をする！
今を大切に、これからもゆるるらしく、しっかり前を向いて進んでいきたい。

心のつながいを密にして

新型コロナウイルスの流行で緊急事態宣言が発令され、休校や外出の自粛も続く中、ゆるるではみんなが「楽しく」、「生活リズムを崩さないように」、「できる限り季節感を味わえるように」をモットーに活動してきました。学校に行き、公園に遊びに行くという『普通の日常』の有難さを感じています。距離を保つことが求められる今、心はしっかりと繋がっていきたいと思っています。



「この画像は何でしょう？」クイズ！！
画像が見えてくると大盛り上がり！！
すごいもの見えちゃいました。



お菓子を収納する棚を作ってみました。カいっぱい木材を切って。



大好きなアイドルの写真で作ったカード合わせゲーム。お気に入りのアイドルのカードをみつけると♡



砂場、そこは少年の夢が叶う場所。水を流して川やダム、トンネルにしたり。やっぱり外の空気おいしいね。

わたしの お気に入り

職員の趣味
を紹介♪



鯉 竜 燕 虎 鯨 星

ほのぼの巨人会 福岡 武

あれは私が10歳、小学校4年生の夏の出来事でした。ふとTVを見ると高校野球が映っており、野球に没頭していた私は、ある高校球児に釘付けになりました。それは当時、石川県代表だった星稜高校の4番バッター、松井秀喜さんです。身体も規格外で、豪快なスイングに心を打たれました。

そして、あの事件が起きてしまいました。第2試合の明德義塾戦で当時は社会問題にも発展した、そう5打席連続敬遠です。それ以来、松井秀喜さんの虜となり、翌年のドラフト会議で4球団競合の末、長島監督が1位で引き当て、それから私の松井愛、巨人愛が始まりました。TVの前の応援はもちろん、球場まで足を運び、勝利を願う日々がスタートしました。

2002年、シーズン終了後、私の松井秀喜さんはFA権を行使し、アメリカに渡ってしまいました。私の巨人愛は変わらず、その後もずっと見守ってきました。アンチ巨人の方々に言わせると、「いい選手はすべて金で獲得してしまう球団」、「4番バッターの集まり」など、ネガティブな言葉ばかり耳にしますが、12球団中そんなチームが1つくらいあってもいいと思いませんか？面白くないですか？読売巨人軍は今も昔も、大スターを生み出し、子供達に夢と希望を与え、球界を盛り上げてくれる最強の球団なのでから……。秋に原監督の胴上げを球場で見るのが楽しみです。

幼少のころから野球好きだった私は、父の影響もあってか自然と巨人ファンになっていた。

ある日、叔父が「子供はみんな巨人を応援するんだ。大人になるとカーブを応援したくなるもんだ。」と言った。何を勝手なことを言ってるんだ。と、少し頭にきた。

1992年夏、高校3年となった私は部活も引退し何となく受験勉強をしていた。ブラウン管に映る同年代の高校球児の中に一人、明らかに他の選手と違う輝きを放つ選手がいた。そして、それは8月16日の夏の甲子園2回戦石川の星稜高校対高知の明德義塾高校戦で起きた。ご存じの5打席連続敬遠である。世間では批判もあったが、明德義塾高校も勝利に向けての最善かつ懸命の策、私は当然の作戦だと思った。打者は星稜高校の4番松井秀喜選手。投げられたのは20球、ストライクは無い。松井選手はいつも通り泰然とした構えで眼光鋭く微動だにしない。一球たりとも隙は無く、好球必打、しだいに強まる喧騒をよそに泰然と泰然と、鬼気迫る真剣勝負をしたのである。格好よかった。感動した。自分との違いに愕然とした。人としての生き方すら教わったように思えた。野球が一層に好きになった。

プロ野球に入り10年、スーパースターとなった松井選手。2002年日本シリーズ第4戦西武ドーム、この試合が日本での最後の真剣勝負となった。スタンドから声援を送った私の脳裏に焼き付いているのは試合前のバッティング練習である。いったい何球、球場の外に消えたことだろう。その飛距離もさることながら、スタンドまで伝わる気迫。そう、あの日ブラウン管の向こうにいた松井選手がそこにいる。そして、隣には幼い頃、毎日、毎日、日が落ちるまで一緒に野球ばかりしていた西武ファンの親友がいた。ゲームセットと同時に無数の紙テープが無人の左翼を埋めた。もし叶うなら、もう一度、あの日のあのスタンドに行ってみたい。

シーズンを終えアメリカに渡ることになった松井選手は、記者会見の席で、「裏切り者と言われるかもしれないが」、「決断した以上は、命を懸ける」と決意を語った。寂しかった。また何か大切なことを教わったような気がした。そして、大切なものを失ったような気がした。

松井選手が日本を去ったことで、松井選手がした決断ほど大きな決断をした訳ではないが……。気づけば、自分も裏切り者になっていた。誰の背中を追ったのだろう。

月日は流れ、どういう訳か、10年ほど前からカーブを応援している。

元巨党 H. K

趣味 悠・遊

皆さんの趣味はなんですか？ 今も楽しんでいることをお尋ねしました



新井 絹代さん
(長寿荘)

私の趣味はギターです。こどもの頃、家にギターがあったのをきっかけに、小学3年生頃から独学でギターを弾くようになっていきました。その後中学校に入り、一度ギターからは離れていた時期もありましたが、16歳頃よりまたギター熱が再燃し、流しをやりたいと思うようになりました。父が名古屋で飲み屋をやっていたということもあり、そこで演奏させてもらったりもしていましたが、その頃「流しなら1曲100円だよ」と言われ、それからは1曲100円で流しとして演奏させてもらうことになりました。あの時、初めて自分の演奏の対価としてもらった100円で買って食べたリンゴの味は、今でも忘れられません。時は流れ現在ですが、長寿荘入所後に新しいギターを購入し、今でも時間がある時はギターを弾いて過ごしています。長寿荘でも行事等で演奏する機会をいただき、何曲か披露もさせていただきました。自分の趣味を通して、少しでもみなさんに楽しんでいただけたら幸いです。



専門職のコーナー

今回のテーマ

『個性を大切にできる未来に』

人は万人それぞれが気持ちを持ち、その意志を伝えあい、相互交流が生まれ生活が成り立っていると思います。その中で、個々に応じたコミュニケーションを用い、情報をキャッチし、お互いがニーズ達成を目指すことで、生活の潤いが得られているのではないかと自分は考えています。

先日、友人から「朝食って、普通あまり食べないじゃん」と言われ、つい、「あっ、そうだよな。」と話を合わせてしまったことがありました。自分は、結構いつもしっかり食べるのに…。日常会話の中でつい話を相手に合わせてしまうことがあります。しかし、逆を返すと相手に自分の本当の気持ちを伝えることができず、相手もこちらの好み、嗜好を理解してもらえていない状態のままの場面もあります。

他者とコミュニケーションする際、何気ないコミュニケーションの中で相手のニーズを読み取ることは、大変難しいことであると思います。また、伝える側も気持ちを素直に伝えることができない場合もあります。

相談支援の仕事をさせていただいている中で、私が常に念頭に置いていることは、その人から発せられる意志を示すサインを見逃さないということです。例えば、言語、視線、表情、手足の動きなど、あらゆるサインから相手の気持ちを考えるということ。受け手がニーズを受け取ろうという意欲を持ち続けることが、相手のニーズを受け取ることができる早道ではないかと考えています。

また、「普通」という言葉を考えると、その人の普通と自分の普通は違う。すなわち、人それぞれの普通があり、人の数だけ普通があると考えています。その人の普通を個性としてとらえ、その人に応じた普通をともに考えていくことが生活に潤いをもたらすのではないかと考えます。

本人と向き合いアセスメントを深めていくことに加えて、

- ①周囲にいる我々が本人への理解を深めていこうという気持ちを持ち続けること。
- ②ニーズ、普通は1人1人違うということを再認識すること。

が重要であると考えています。今後も、皆さんのニーズ、普通をともに考え、個性を大切にしながらライフステージに合わせた支援を行っていかれたらと考えています。



障がい者相談支援センター
ほのぼの 相談支援専門員
関根 秀人

Information (秩父市社会福祉事業団からのお知らせ)

介護スタッフ募集

今号2～3ページでもご紹介しましたとおり、8月より『にじいろテラス』がオープンします。新規事業開始に伴い、職員募集の看板を設置しましたので、一緒に働いてみたい方は、お気軽にお問い合わせください。

○ 正職員

選考日：令和2年7月12日（土）

選考方法：筆記試験、作文、面接

※詳細は当法人のホームページでもご覧いただけます。

○ 契約職員・パート職員

選考日：随時

選考方法：面接



事業拡大のため、スタッフを募集しています。

まずはお問い合わせ下さい

秩父市社会福祉事業団 総務課

担当：加藤、長谷川

TEL 0494-21-5535

新たな職員が加わりました

昨年度、当法人では職員採用試験を4回実施し、介護職6名、看護師1名の職員が採用となり、4月1日、秩父市役所市長室において辞令交付式を行いました。新規採用職員に対しては、当法人職員の専門性を活かした研修が行われ、介護職場のマナー、介護保険制度、認知症高齢者の理解と対応、事故防止対策、感染症対策、腰痛予防対策等について学びました。

新規採用職員は、介護職として特別養護老人ホームへ、介護支援専門員として居宅介護支援事業所へ配属となっています。利用者、ご家族の皆さま、どうぞよろしく願いいたします。

編集後記

『平成』から『令和』になり1年が過ぎました。時代が変わりまだ間もないですが、本当に色々な出来事があったように感じます。その中でも、やはり一番大きな出来事は「新型コロナウイルスの流行」だと思います。その新型コロナウイルスが流行する前、昨年末に、私はこれまでの人生で一番大きな怪我をしてしまいました。秩父夜祭宵宮の夜、夜道をジョギング中に小さな橋から誤って転落したのです。橋の高さは約7メートル。橋の下には沢が流れ、周囲には固い岩。その後、気づくと集中治療室に横たわっていました。転落し身動きが取れず、意識もうつろな中、意外な人に携帯で助けを求めていました。記憶にはありませんが、その方が懸命に救出してくれたとのこと。まるで神様の様に思っています。今現在、これまでと全く変わらずに働き、元気に生きています。この九死に一生の経験を通して、これまで当たり前のように生活できていた日々のありがたさ、そして家族や自分の周りにいる人への感謝、この事に改めて気付かされました。苦しい状況の昨今、自分には何ができるのか。『人に対する思いやり』そして思うだけではなく、行動に移すこと。そうすることで、自分も周りの人も、大切な人も、きっと救う事ができるのではないのでしょうか。みんなで頑張りましょう。(柴)

秩父市社会福祉事業団「Facebook」更新中！ <https://www.facebook.com/chichibu.honobonometrytown>

秩父市社会福祉事業団 HP アドレス

<http://www.chichibu.ne.jp/~honobono/>



秩父市社会福祉事業団

検索

